

クリプト通信臨時配信 上ひげ (2019年11月21日)

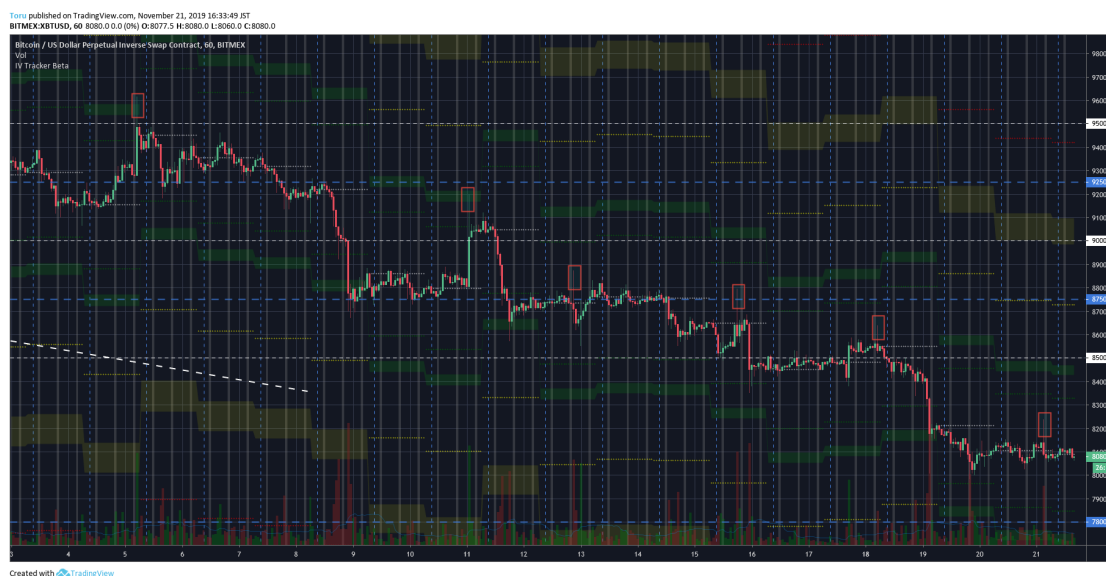
上ヒゲ

受講生の皆さん、こんにちは。

ビットコインで少し気になる徴候が出ていましたので、こちらでシェアをさせていただきます。

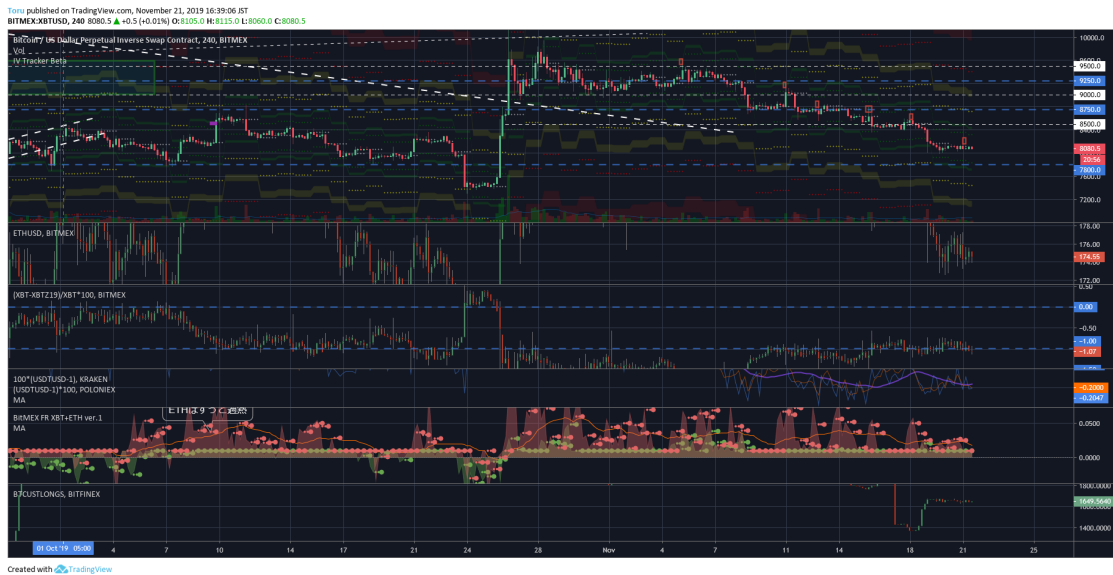
今朝、午前3時にBTCは8200を超えた直後に反落し、いわゆる「上ヒゲ」を付けて反落しました。

11月5日以降、こうしたヒゲが出ると決まって手前のサポートを割って下落を続けています。



<https://www.tradingview.com/x/MpXhkFLf/>

また調達金利や先物の乖離率を見ても、現状が「売り込まれ」ているわけでは無いことも分かります。



どちらかと言えば、淡々とレベルを巡航速度で切り下げてきているイメージすらあります。

レポートでもレンジ下限は8000から外側に500ドル程度の余裕を持ってとお伝えをしています通り、今の動きを見ている限りでは8000を割り込むのも時間の問題という感覚を持っているプレイヤーも多そうです。

本格的な反発上昇を始めるためには、以下の2つは確認をしたいところです。

- 調達金利のL側受け取りが何度か続く
- 先物バックワーデーション（BitMexならPerpetualの価格よりZ19が下に来ること）
――一瞬だとしても

10月25日の激しい上昇前には、習主席のBlockchain発言がありました。ただ、あれは上記2つがそろって上昇できる準備が整っていたからこそ効果が出たものです。

おそらく今、同じ発言があってもさほど材料視はされないでしょう。

今夜予定されている採掘の難易度調整は若干のプラス。おそらくマイナーのヘッジショート回収レベルに変化は無いはず（8000前後）。

ただ、今は下落のモメンタムが強い割に「売られすぎ」の数字が全くといって良いほど出ていない状態です。

本日のIV到達ポイントは下が7700近隣となっています。一応はそのあたりまでの下落も視野に入れておいてリスク管理をしていった方が良いかもしれません。

こんな予測はすべて覆して、トランプさんがビットコインを応援。爆発上昇してもらいたいものです（願望）
それでは、残りの週も楽しんでいきましょう！

ココスタ
佐々木徹

